

鳥取市の水道経営

平成12年度水道事業決算状況



平成十二年度は、主に浄水施設整備、震災時応急給水拠点整備などの事業を、それぞれ継続して行いました。このうち、震災時応急給水拠点整備では市内十二カ所に「応急給水拠点」、六カ所に「応急給水施設」を設置し、万一の事態に備えました。

また、浄水場の必要性の説明など、より開かれた水道事業を目指し、「鳥取市政と水道を語る会」を行いました。



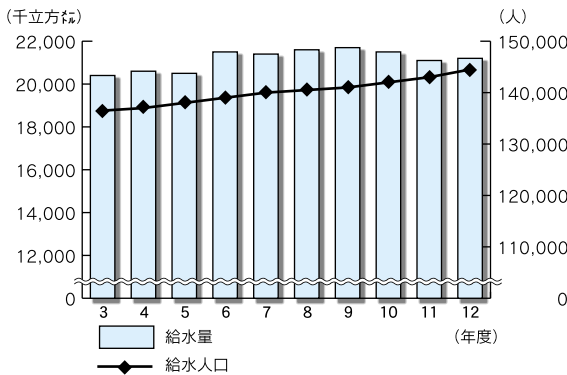
浄水施設整備事業の造成工事の様子

平成十二年度は、二億八千九百万円の当年度純利益がありました。今後は水道使用量の伸びが期待できない状況にあります。また、安全な水道水を安定的に供給するため、浄水施設整備などの大型事業にも取り組んでいます。

これらのことから、今後、財政状況が厳しくなっていくことが予想されるため、水道局は、より一層効率的な事業運営に努めていきます。

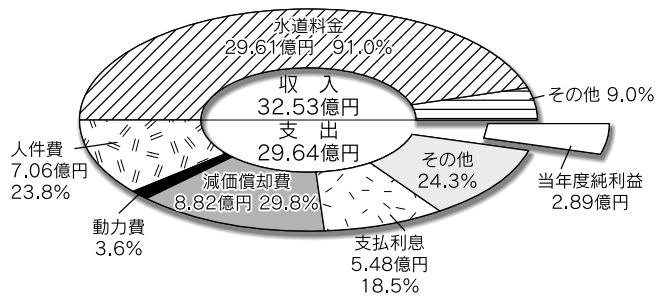
お問い合わせ先 水道局総務課 (☎53 7811)

給水量と給水人口の推移



収益的収支

水道水をつくり、家庭に送り届けるための経費とその財源を示します。



支払利息：国などに支払う借入金の利息
 減価償却費：水道施設等の固定資産を耐用年数に応じて費用分配した額
 動力費：水道水をお届けするために必要な電気料金

平成12年度貸借対照表

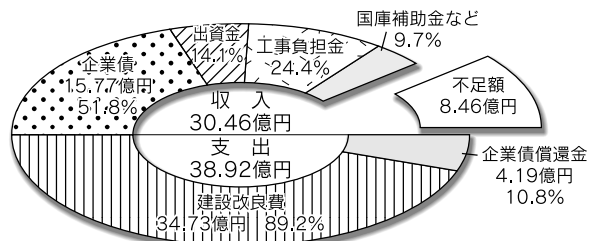
(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
固定資産	33,484	固定負債	42
有形固定資産	33,183	流動負債	819
無形固定資産	301	計	861
流動資産	1,872	資本の部	
現金預金	618	自己資本	3,575
未収金	399	借入資本	14,724
前払金	793	剰余金	16,196
その他	62	計	34,495
合計	35,356	合計	35,356

固定負債：支払期限が1年を超える金銭債務
 流動負債：支払期限が1年以内の金銭債務
 借入資本：建設改良の財源とするため借り入れた企業債（株式発行の制度がない公営企業では、その重要性から「資本」の取扱いをすることとされています。）
 剰余金：毎事業年度の収益的収支から生ずる利益剰余金と国庫補助金や工事負担金など資本的収支から生ずる資本剰余金があります。

資本的収支

水道施設を新設、改良及び更新するために必要な経費とその財源を示します。



不足額8.46億円は、収益的収支の減価償却費などで補てんします。

企業債：施設の新設や更新のための国などからの借入金
 出資金：一般会計からの繰入金
 企業債償還金：国などに支払う借入金の元金

(注) 金額は、消費税及び地方消費税の額を含まない額です。
 水道局のホームページは、<http://www.water.tottori.tottori.jp/>です。